

人的資本経営の推進により、 お客様への提供価値・社会課題解決力の向上へつなげる

当社の人的資本経営の取り組みは、2本の柱「経営戦略と人材戦略の連動」「Well-beingの推進」と、それらを支える「共通基盤の強化」から構成されており、これらの取り組みを通じて「会社・組織のバリュー向上」「個人のバリュー向上」、ひいてはお客様へ提供できる価値の向上や社会課題の解決(Customer Value/Social Value)につなげていきます。

「経営戦略と人材戦略の連動」は、「会社・組織のバリュー」を向上させる取り組みです。事業戦略と整合した人材計画を立案し、浮かび上がる現状(Asis)と目標(Tobe)とのギャップに基づき、採用・登用・育成を行います。また、社員の貢献度に基づいた適切な評価・報酬を通じて、リテンションを強化します。

「Well-beingの推進」は、「個人のバリュー」を向上させる取り組みです。事業活動で生み出した利益から、社員の「健康」「成長」「働きがい」という領域を中心に投資し、社員のWell-being向上を推進していきます。具体的な施策については経営や人事のみで考案しカスケードダウンするのではなく、現場で働いているITエンジニアが参加する全社横断ワーキンググループ活動で検討しています。

この2本の柱を支え、双方に効果がある取り組み「共通基盤の強化」を推進しています。具体的には、I&D(Inclusion & Diversity)の推進、文化醸成、働く環境・仕組みの整備などがあります。

当社はこのような体系のもと、PDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルを回しながら人的資本経営のさらなる高度化を目指しています。

